

# 浜田まさよし通信



www.hamada-m.com

発行：公明党参議院比例区第8総支部

Mr.浜田スタイル

## あなたの声、活かす力!

浜田まさよしは、2年9カ月の復興副大臣在任中、東日本大震災の被災地・福島に在任し、被災者に寄り添いながら、復興の加速に情熱を注いできました。

弱い立場の人の小さな声にも真剣に耳を傾け政策立案し、要望の実現に



「誰もが安心して暮らせる社会をつくりたい」と連日、中部、北陸、静岡の各県を駆け巡り、現場の声に耳を傾けています。先日は、富山市にある幼保連携型認定こども園を訪ね、要望を伺いました。

粘り強く取り組んできました。

そして今、「あなたの声、活かす力！」を motto に、「命を守る」災害対策、子ども・若者の「笑顔輝く」青年政策、さらには、「地域の強み」を活かした地方創生を掲げ、全力で取り組んでいます。

### 浜田まさよし プロフィール

- 1957年2月28日生まれ
- 神奈川県立横浜翠嵐高校、京都大学工学部卒業
- 旧通商産業省(現在の経済産業省)に入省
- 2004年7月、参議院議員選挙初当選。外務大臣政務官、復興副大臣等を歴任
- 党中央幹事、党核廃絶推進委員会座長、党中部方面本部副本部長、党愛知・三重・岐阜・石川・富山・静岡各県本部顧問、防災士

#### 浜田まさよし「メールマガジン」のご案内

浜田まさよしの活動を、スマートフォン、携帯電話にメールにてお届けいたします。**下記のアドレスに空メールをお送りください。**

**epbv6935reg@mr.cbz.jp**

メール作成画面で上記アドレスを入力し、本文・タイトル(件名)は記載しないでそのまま送信してください。(空メール送信)

右のQRコードでもご登録いただけます



浜田まさよし  
オフィシャルウェブサイト  
http://www.hamada-m.com  
新しく、見やすくなりました



Facebook  
https://www.facebook.com/masayoshi.hamada.komei



Twitter  
https://twitter.com/hamadamasayoshi



＜部内討議資料＞

#### 「福島県の恩人」

福島県知事 内堀 雅雄 氏



浜田前復興副大臣には、発災当初から与党・野党という立場に関係なく福島に寄り添い、復興に全力を尽くしていただきました。福島独自の特別立法や企業向け補助金、避難地域の将来構想、そして必要な財源の確保など、御功績はこのスペースに収まりきれません。また、福島担当副大臣として福島の官舎に居を構え、現場主義を真摯に貫かれました。

その指導力、人々の心に寄り添う温かさ、まさに福島県の恩人であります。

#### 「親友を応援しています」

夜回り先生 水谷 修 氏



浜田まさよし君は、高校時代からの私の親友です。浜田君は、夜の世界の子どもたちを何とか昼の世界に戻そうという私の戦いを、国会議員として常に助けてくれました。

特に、福島県で東日本大震災によって家族を失い、また親戚もいない18才以上の子どもたちのための施設を、私の仲間たちが福島県に設立する際は、復興副大臣として力を尽くしてくれました。この国の若者たちの明るい明日のために、どうぞ浜田君を支えてください。

#### ●水谷修 プロフィール

1956年生まれ。上智大学を卒業後、83年、横浜市立の高校教諭に。2004年9月に退職。中・高校生の非行と薬物汚染の防止のために、全国各地の繁華街での「夜回り」(パトロール)や薬物追放の講演会を精力的に行っている。テレビ朝日「ワイドスクランブル」、TBS「白熱ライブビビット」等にコメンテーターとして出演中。

#### 「うつ病対策の中心的な働きに感謝」

一般社団法人 認知行動療法  
研修開発センター 理事長 大野 裕 氏

日本の精神医療というのは、どうしても薬物中心で、心のケアには十分ではありません。そこに浜田議員が関心を持たれ、厚生労働省に働きかけた結果、心のケアも診療報酬の対象となりました。診療報酬は、薬、検査などの物が対象ですが、対話という療法にまで保険の対象となることは非常に画期的なことです。私は専門家として、浜田さんは議員として、国民の健康のために大事なんだということを訴えました。最終的に保険適用につながったことに感謝しています。

《認知行動療法とは?》 うつ病における認知行動療法とは、精神科の治療としてできた心理療法やカウンセリングの一種。認知とは、物の見方、受け取り方で、特にうつ病の方は悲観的に考え、自分を追い込む傾向にある。見方を広げることで色々な問題に適切に対処できるようになり、気持ちを軽くしていく療法。

#### 浜田が実現! 「高額療養費の窓口負担を軽減」

病院窓口や薬局で支払う医療費の自己負担限度額を定めた高額療養費制度——。従来、限度額を超える医療費については、患者側が一時的に立て替えていましたが、入院だけでなく、通院の場合も、窓口での立て替え払いを不要に。長期に高額な薬剤を使用しなければならない患者の切実な声を聞いた浜田が、粘り強く改善を求めたことにより実現しました。

「高額療養費の窓口負担の軽減の実現に、我が家のみならず多くの方が救われてます」  
(写真左：和田弘仁「胆道閉鎖症の子どもを守る会」本部運営委員・静岡県富士市在住)







# 日本の未来をひらく 浜田スタイル!

政策立案、そして実現力。あなたの声、活かす力!それが、浜田スタイル!

## I HAMADA Style 復興再生

### 復興副大臣として約1000日、被災地に常駐

2012年に復興副大臣に就任して以来、約1000日の間、福島県を中心に東日本大震災の被災地を駆け巡り、被災者に寄り添い続けました。

#### エピソード①

「仮設住宅で一度バリアフリー工事を行っている、転居した場合の、二度目の工事費用は介護保険の対象にならない、何とかして欲しい」との要望が寄せられました。浜田はさまざまな課題をクリア、そして実現させました。



〈郡山市の仮設住宅を訪問〉

#### エピソード②

一時避難先の仮設住宅から、復興公営住宅に引っ越される方から「公営住宅にはカーテンも照明も何もない。なんとか仮設住宅から持っていけないか」との要望を受けました。これには財産移譲の難しい問題がありましたが、政府・行政に粘り強く働きかけ新たに条例を制定。被災者の皆さまから大変に喜ばれました。

## II HAMADA Style

# 若者の“笑顔”をつくる

### 子どもや若者に寄り添う 多彩な実績

青少年の声に耳を傾けてきた「夜回り先生」と水谷修氏とともに、青少年の環境改善に向け、子ども達の笑顔を取り戻すために全力をあげています。



〈夜回りをする浜田と水谷氏〉

#### ☆フリースクール通学者の高校出席扱いと学割適用を実現

不登校となった高校生が通うフリースクール。フリースクールに通いながら、高校と家族が緊密に連携し、一定の教育レベルを維持することで高校の出席扱い、及びフリースクール通学者における定期の学割を小中学校だけでなく高校まで拡大しました。これにより中途退学者の減少と経済的負担の軽減を実現しました。

#### ☆危険ドラッグの根絶へ

危険ドラッグによる痛ましい事件・事故。青少年の間にも広がりを見せていました。“脱法ハーブ(ドラッグ)”の名称を「危険ドラッグ」に。指定薬物の製造・輸入・販売を禁止するだけでなく、一部の化学構造を変えて販売することを規制する包括規制を導入。麻薬取締官の権限強化と増員、学校教育の推進等、水谷氏と連携し実現しました。これにより、青少年へのまん延を防ぎました。

## III HAMADA Style

# 地方創生

### 「地域の強み」を活かし展開

中部・北陸・静岡には、世界に誇る多くの「地域の強み」が存在します。

昨年より各地を回り、現場で伺った声として、中小企業支援策をはじめ、和牛、国産ミカン対策、国産材需要振興までを含む総合的の山林林業対策や先進的な災害対策について参議院予算委員会にて質問に立ち、要望を行いました。(2015年11月)

これからも、小さな声、地域の声を“カタチ”に全力で取り組んでまいります。



〈予算委員会質問に立つ浜田まさよし〉

